



真理探求

甲州市立勝沼中学校

2024年7月18日発行

第5号

文責 校長 三枝敏明

校訓「真理探求」

全校生徒数:224人 (1年:74人 2年:68人 3年:82人)

学校教育目標 「たくましく心豊かで実践力のある生徒の育成」

甲州市学校教育 基本理念 「人・自然・ふるさとを愛する甲州教育」

Jアラートによるシェイクアウト訓練

6月20日(木)、Jアラート(全国瞬時警報システム)を利用した緊急地震速報の放送にあわせて「シェイクアウト訓練」を行いました。地震による被害を最小限に抑えるために、地震発生直後は「姿勢を低くして、頭を守り、動かない」ことが大切であることをあらためて学ぶ機会となりました。

SNS学習会

6月24日(月)に、日下部警察署・生活安全課、中澤嘉洋様を講師に招聘しSNSのトラブルに巻き込まれないための学習会を開催しました。

SNSとは、ソーシャルネットワーキングサービスの略称であり、インターネット上で個人同士がつながれたり、投稿できたりするサービスです。情報の収集やコミュニケーションツールとして活用が広がっていますが、危険性も潜んでいます。主な問題・トラブルには次のようなものが挙げられ、被害者・加害者どちらにもなってしまいう可能性があります。

- ・SNS依存
- ・SNS上でのいじめ
- ・個人情報の流出(投稿・写真)
- ・著作権侵害
- ・炎上(批判的コメントの大量発生)
- ・他者へ誹謗中傷
- ・性犯罪
- ・闇バイト

当日は、実際に北海道で発生した事例も取り上げながら、具体的な数値データ等をもとに身近な問題として講演をしていただきました。

租税教室(3年生)

6月27日(木)5校時に3年生を対象として、税理士会より4名の講師をお招きして租税教室が行われました。税理士の仕事の紹介や、「税金は取られるものではなく、誰かを幸せにするもの」ということを中心に講義をいただきました。生徒たちも熱心にメモを取り、納税者としての意識を持つ良い機会になりました。

県選手権大会

運動部活動の県選手権大会の結果を掲載します。県大会だけあってレベルの高い試合が展開される中、成果を発揮しようと頑張りました。

ソフトテニス 6月29日・30日

- 男子 柴田・横瀬ペア 1回戦VS.押原中 4-1勝ち 2回戦VS.増穂中1-4負け
- 女子 石崎・佐藤ペア 1回戦VS.都留二中1-4負け
- 高野・小澤ペア 1回戦VS.葦崎東中2-4負け

陸上 6月29日・30日(通信陸上) 3年 石崎 聖那 100m 3位 200m 2位

水 泳 7月6日・7日

1年	佐藤 大志	100m自由形	9位	200m個人メドレー	9位
2年	鈴木 将真	400m自由形	7位	200m個人メドレー	2位
2年	池水さら彩	100m自由形	2位	200m自由形	1位

剣 道 7月15日

男子	芦澤 尚樹	VS.明見中	0-1負け	阿部 健	VS.一宮中	1-2負け
	芦澤 朋樹	VS.航空中	0-2負け	木之瀬 慧	VS.若草中	0-2負け
女子	久保田真叶	VS.南西中	0-2負け			

ストリートピアノ・ミニコンサート

6月末から7月上旬にかけて、市役所に設置しているストリートピアノを使った市内の小中学生によるミニコンサートが開かれました。7月2日(火)には本校3年生の内田桃華さんが演奏を披露しました。曲名は「コウを追いかけて」と「幾億光年」。曲想をからだで表現しながら奏でた演奏は圧巻でした。

わだつみ平和文庫見学(2年生)

「わだつみ平和文庫」

甲州市塩山の旧中村医院の院長であった中村克郎さんの「戦争の悲劇を二度と繰り返してはならない」という意思を、娘の中村はるねさんが引き継ぎ、医院を改築し平成20年10月に開館。

7月5日(金)の午後、わだつみ平和文庫見学を2年生が行いました。事前学習としてわだつみ平和文庫開館へ向けた克郎さん、はるねさんの思いが詰まったDVDを視聴し気持ちを高め見学に臨みました。

【2年B組 吉原和那さんの感想を掲載します】

わだつみ平和文庫にはたくさんの人々の願いが込められているんだなと強く感じました。今、私たちが平和に暮らせているのも戦争で大切な人を亡くした人々によって(平和が)受け継がれているからで、そのことに感謝して日々生活していきたいです。(中略)平和の大切さを自分たちが学んで次へ受け継げるように頑張りたいと思いました。

薬物乱用(依存症)防止教室

7月17日(水)に県精神保健センター所長志田博和様を講師にお招きし、薬物乱用(依存症)防止教室を開催しました。薬物依存はスマホ・ゲーム依存の要因と共通しているということで、身近なゲーム依存について質問形式をとりながら、分かりやすく依存症について解説をしていただきました。社会での生きづらさを依存という形で紛らわすのではなく、コミュニケーション能力をリアルな経験により向上させ、健全な相互関係(ギブアンドテイク)が大切であると伝えていただきました。